

オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

運用報告書(全体版)

第21期(決算日2017年7月11日)

作成対象期間(2016年7月12日～2017年7月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	1996年9月12日から2021年7月12日までです。
運 用 方 針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。
主な投資対象	トルコの企業の株式(DR(預託証書)を含みます。)を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	中 率	期 騰 落				
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
17期(2013年7月11日)	16,403	370	37.2	33.1	96.6	—	3.0	4,646	
18期(2014年7月11日)	16,330	350	1.7	2.4	93.6	—	4.6	4,054	
19期(2015年7月13日)	16,295	320	1.7	1.2	96.0	—	4.0	3,192	
20期(2016年7月11日)	11,802	120	△26.8	△28.5	94.2	—	4.2	2,017	
21期(2017年7月11日)	13,352	200	14.8	17.8	96.6	—	1.9	3,379	

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。

* 参考指数（＝BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。

算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

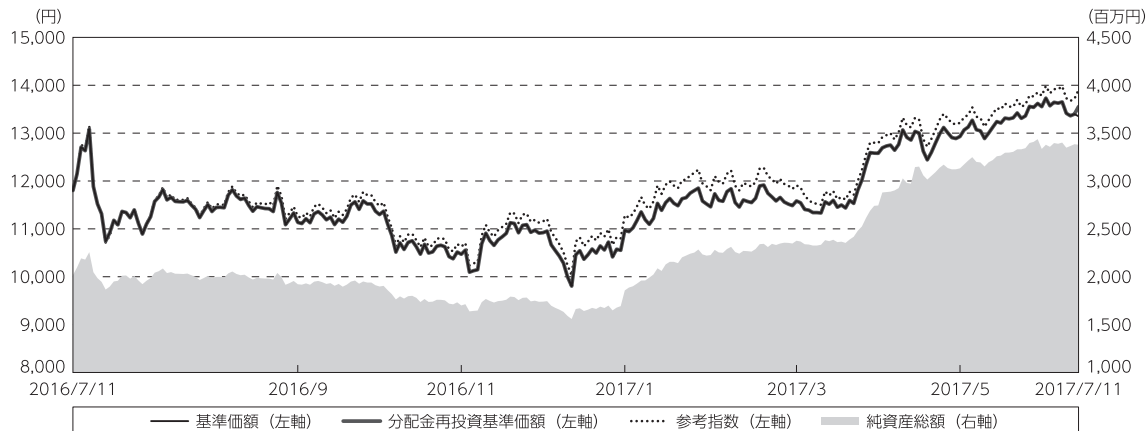
年 月 日	基 準	価 額	参 考 指 数	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2016年 7 月11日	円 11, 802	% —	% —	% 94. 2	% —	% 4. 2
7 月末	11, 341	△ 3. 9	△ 4. 0	93. 4	—	3. 9
8 月末	11, 447	△ 3. 0	△ 2. 5	95. 5	—	4. 2
9 月末	11, 135	△ 5. 7	△ 4. 6	95. 8	—	4. 3
10月末	11, 299	△ 4. 3	△ 2. 7	94. 9	—	4. 1
11月末	10, 470	△11. 3	△ 9. 9	95. 8	—	4. 0
12月末	10, 954	△ 7. 2	△ 5. 0	93. 9	—	4. 1
2017年 1 月末	10, 971	△ 7. 0	△ 4. 4	88. 8	—	3. 4
2 月末	11, 520	△ 2. 4	0. 7	95. 2	—	3. 0
3 月末	11, 583	△ 1. 9	0. 9	94. 7	—	2. 6
4 月末	12, 579	6. 6	8. 4	95. 6	—	2. 3
5 月末	12, 930	9. 6	12. 0	96. 4	—	2. 1
6 月末	13, 571	15. 0	17. 2	97. 0	—	1. 9
(期 末) 2017年 7 月11日	13, 552	14. 8	17. 8	96. 6	—	1. 9

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：11,802円

期 末：13,352円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率： 14.8%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年7月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。参考指数は、作成期首（2016年7月11日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- （下落）トルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂や、その後のエルドアン大統領による大規模な粛清や非常事態宣言などから同国の政治・経済への先行き不透明感が高まったこと、大手格付会社によるトルコの外貨建て長期国債の格下げ、景気悪化、トルコ・リラの下落
- （上昇）大手企業による堅調な2016年の決算発表やトルコ大手銀行による2017年の堅調な業績見通し発表、トルコ・リラ安の一服で外貨建て債務が多い大手企業のバランスシート悪化懸念がやや後退したこと、一部の経済指標が改善し始めたこと
- （上昇）大統領制への移行を問う国民投票の結果が賛成となったことや、その後に国内政治の安定化期待が高まったこと、波乱なく終わったフランス大統領の選挙、好調な経済指標の持続、景気回復に伴って大手企業の業績への期待が高まったこと、トルコ・リラの上昇

○投資環境

期初、トルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂が発生したことや、その後のエルドアン大統領による大規模な粛清や非常事態宣言などを受け、同国の政治・経済への先行き不透明感が高まったことなどから下落して始まりました。その後、エルドアン大統領とロシアのプーチン大統領との会談で両国間の関係改善への期待が高まったことやトルコ中央銀行が預金準備率や翌日物貸出金利を引き下げ、金融緩和を実施したことなどから反発し、安定的に推移しました。しかし、その後2016年11月にクルド系野党HDP（国民民主主義党）の幹部が拘束され、国内情勢の一段の不安定化が嫌気され、株式市場は下落しました。また、すでに進行していた景気減速に加え、米国大統領選挙でトランプ氏が選出されて以降、同氏の掲げる政策を背景に米国長期金利の上昇や米ドル高が進行すると、外貨建て債務の大きなトルコ経済への影響が懸念され、下げ幅を拡大しました。しかし、2016年12月にトルコ中央銀行総裁がトルコ・リラの急激な下落に対してあらゆる手段を用いて通貨価値を守ると述べたことや、その後に米国の長期金利上昇が一服すると、株式市場からの資金流出懸念も和らぎ、上昇に転じました。2017年1月上旬以降、トルコ大手銀行が2017年の業績について市場予想を上回る堅調な見通しを発表し、他の大手企業も2016年の堅調な決算を発表し、国内景気減速やトルコ・リラ安による企業業績への悪影響の懸念がやや後退したことを受け、株式市場は続伸しました。2017年4月に大きな注目を集めた大統領制への移行を問う国民投票の結果が賛成となり、国内政治の安定化への期待が高まったことなどが好感され、株式市場は上昇幅を拡大しました。その後、フランス大統領選挙の結果を受けたグローバル株式市場の上昇はトルコ株式にも追い風となりました。また、市場予想を大幅に上回った2017年1－3月期の実質GDP（国内総生産）成長率をはじめ、好調な経済指標の発表も株式市場の下支えとなり、当期においてトルコ株式は上昇しました。

為替市場では、クーデター未遂事件を受け先行き不透明感が高まったこと、米大手格付会社によるトルコの外貨建て長期国債の格下げ、国内情勢の不安定化や景気悪化などが嫌気され、トルコ・リラは下落（円高）して始まりました。その後、大統領制への移行を問う国民投票が賛成となり、国内政治の安定期待が強まったことや、景気回復の兆しがみられたこと、インフレを沈静化させるために金融引き締めを続けるトルコ中央銀行の政策運営に対する信頼が強まったことなどから上昇（円安）しましたが、当期においてトルコ・リラは対円で下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

原則として高位を維持するという運用方針に基づいて運用を行ない、組入比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- （１）業種別では、期初においては、一般消費財・サービスなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、資本財・サービス、素材などをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、一般消費財・サービス、公益事業などをオーバーウェイトとし、資本財・サービス、金融などをアンダーウェイトとしました。
- （２）個別銘柄では、アクバンク、ガランティ銀行などの銀行株を上位に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が17.8%の上昇となったのに対して、基準価額は14.8%の上昇となりました。

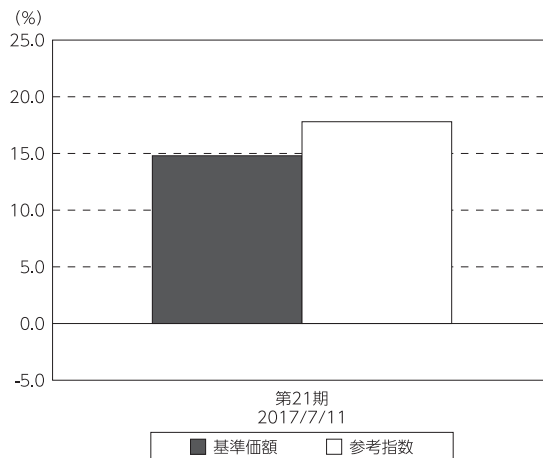
（主なプラス要因）

- ①業種別で、株価騰落率が参考指数を上回った公益事業をオーバーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った航空宇宙・防衛株をオーバーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ①業種別で、株価騰落率が参考指数を上回った素材をアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った機械株をオーバーウェイトとしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

◎分配金

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり200円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第21期
	2016年7月12日～ 2017年7月11日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	1.476%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,788

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

・投資環境

- (1) トルコ経済は、2016年のクーデター未遂事件以降に急減速しましたが、足元では世界経済の底堅い成長やトルコ・リラ安の効果などで景気回復が続いています。訪問観光客数が回復に転じていることは、観光業が重要な位置を占めるトルコ経済にとって回復を後押しすることになります。しかし、2017年1－3月期のGDP統計で見られるように、今の景気回復は政府支出の大幅な拡大や様々な景気支援策にも依存しています。財政支出を拡大する余地は短期的にありますが、支援策の中長期的な持続性には留意します。また、政治的緊張は依然として高く、政府による言論統制も強まっている様子で、政治及び社会情勢の推移には注視が必要です。
- (2) トルコ株式市場については当面、経済政策運営の行方に注目しています。通貨の安定化によって、トルコ・リラ安がもたらす輸入インフレ圧力がやや緩和し、足元でインフレ率の上昇が減速しています。この傾向が続けば、輸出の拡大や政府の様々な支援策に代わって今後国内消費が景気を支えることが考えられます。これまでは金融引き締め政策の継続による景気や企業業績への悪影響は政府による信用保証制度の恩恵により相殺されています。しかし、今後は信用保証制度を利用した貸し出しの伸び余地は、銀行が債権売却などを通じて資金調達をしない限り、限定的だと考えられます。金融市場を巡る外部環境が悪化した時に、投資家の信任をつなぎとめられるかも引き続き課題です。

・投資方針

業種別では、中長期的なトルコの経済成長の恩恵を受ける一般消費財・サービスのオーバーウェイトを引き続き維持する方針です。

個別銘柄については、競争力のあるビジネスモデルや独自の成長要因を有し、経済環境によらず安定した収益の成長が見込まれる銘柄に選別的に投資する考えです。

今後も基準価額の向上に努めて参りますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 7 月12日～2017年 7 月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	254	2.182	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(122)	(1.048)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(120)	(1.026)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(13)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.097	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(11)	(0.096)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(c) そ の 他 費 用	21	0.181	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(21)	(0.178)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	286	2.460	
期中の平均基準価額は、11,650円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2016年7月12日～2017年7月11日）

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	トルコ	百株 37,251 (996)	千トルコリラ 38,849 (ー)	百株 10,451	千トルコリラ 7,401

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	トルコ	口	千トルコリラ	口	千トルコリラ
	EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	ー	ー	146,380	438

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○株式売買比率

（2016年7月12日～2017年7月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,461,265千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,134,264千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.68

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2016年7月12日～2017年7月11日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2017年7月11日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ)	百株	百株	千トルコリラ	千円		
AKBANK T. A. S	7,797	10,045	9,954	315,162	銀行	
ANADOLU HAYAT EMEKLILIK	1,298	2,148	1,245	39,445	保険	
ARCELİK A. S	822	1,524	3,899	123,446	家庭用耐久財	
ASELSAN ELEKTRONİK SANAYİ	1,220	1,059	2,285	72,344	航空宇宙・防衛	
AYGAZ AS	600	2,499	3,864	122,361	ガス	
BRİSA BRİDGESTONE SABANCI LASTİK SAN VE	995	2,005	1,425	45,133	自動車部品	
CİMSA CİMENTO SANAYİ VE TİC	280	1,055	1,586	50,235	建設資材	
DOĞUS OTOMOTİV SERVİS VE TİC	670	121	114	3,622	販売	
EREĞLİ DEMİR VE ÇELİK FABRİK	5,875	6,245	4,558	144,333	金属・鉱業	
FORD OTOMOTİVE SANAYİ AS	490	995	4,172	132,115	自動車	
İNDEKS BİLGİSAYAR SİS TEMLERİ MÜHENDİSLİ	—	240	263	8,327	電子装置・機器・部品	
KARDEMİR KARABÜK DEMİR-ÇL D	3,981	—	—	—	金属・鉱業	
KORDSA TEKNİK TEKSTİL A. S.	—	1,854	1,554	49,208	自動車部品	
LOGO YAZILIM SANAYİ VE TİCAR	—	325	1,860	58,907	ソフトウェア	
PETKİM PETROKİMYA HOLDİNG AS	—	5,534	3,354	106,188	化学	
SODA SANAYİİ	—	4,476	2,958	93,670	化学	
TOFAS TÜRK OTOMOBİL FABRİKA	693	1,037	3,038	96,196	自動車	
TÜRKİYE SİNAYİ KALKINMA BANK	4,334	5,450	779	24,675	銀行	
TÜRK TUBORG BİRA VE MALT SANAYİİ A. S.	1,420	1,300	1,293	40,952	飲料	
TÜRK HAVA YOLLARI AO	3,109	2,909	2,522	79,854	旅客航空輸送業	
TÜRK TRAKTOR VE ZİRAAT MAKİN	189	228	1,776	56,231	機械	
TÜRKCELL İLETİŞİM HİZMET AS	2,657	5,839	6,838	216,496	無線通信サービス	
TÜRKİYE GARANTİ BANKASI	8,017	9,939	9,879	312,780	銀行	
TÜRKİYE İS BANKASI AS-Ç	4,282	6,397	4,817	152,526	銀行	
TUPRAS-TÜRKİYE PETROL RAFİNE	441	476	4,780	151,344	石油・ガス・消耗燃料	
ULKER BİSKÜVİ SANAYİ AS	775	1,330	2,785	88,173	食品	
HACI ÖMER SABANCI HOLDİNG	3,728	5,705	6,132	194,166	各種金融サービス	
COCA-COLA İÇECEK AS	418	1,131	4,553	144,160	飲料	
BİM BİRLEŞİK MAGAZALAR AS	750	583	3,737	118,314	食品・生活必需品小売り	
TAV HAVALİMANLARI HOLDİNG AS	900	900	1,737	55,021	運送インフラ	
TÜRKİYE HALK BANKASI	2,845	2,115	2,812	89,057	銀行	
TEKFEN HOLDİNG AS	878	800	704	22,313	建設・土木	
TÜRK TELEKOMÜNİKASYON AS	2,060	2,500	1,527	48,360	各種電気通信サービス	
LOKMAN HEKİM ENGÜRÜSAG SAGLI	—	585	308	9,760	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
DO&CO AG	28	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	
合 計	株 数 ・ 金 額	61,560	89,357	103,123	3,264,893	
	銘柄 数 < 比 率 >	29	33	—	< 96.6% >	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(トルコ)	口	口	千トルコリラ	千円	%
EMLAK KONUT GAYRIMENKUL YATI	838,380	692,000	2,020	63,973	1.9
合 計	口 数 ・ 金 額	838,380	692,000	2,020	63,973
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.9%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年7月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,264,893	% 94.1
投資証券	63,973	1.8
コール・ローン等、その他	139,688	4.1
投資信託財産総額	3,468,554	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産（3,343,745千円）の投資信託財産総額（3,468,554千円）に対する比率は96.4%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1トルコリラ=31.66円、1ユーロ=130.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年7月11日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,468,554,839
コール・ローン等	139,687,696
株式(評価額)	3,264,893,681
投資証券(評価額)	63,973,462
(B) 負債	89,510,929
未払金	9,834,619
未払収益分配金	50,615,750
未払解約金	1,258,024
未払信託報酬	27,761,216
未払利息	155
その他未払費用	41,165
(C) 純資産総額(A－B)	3,379,043,910
元本	2,530,787,513
次期繰越損益金	848,256,397
(D) 受益権総口数	2,530,787,513口
1万口当たり基準価額(C／D)	13,352円

(注) 期首元本額は1,709,444,168円、期中追加設定元本額は1,309,149,470円、期中一部解約元本額は487,806,125円、1口当たり純資産額は1.3352円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額5,806,899円。('16年7月12日～'17年4月2日)

○損益の状況（2016年7月12日～2017年7月11日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	73,447,692
受取配当金	72,851,016
受取利息	208,763
支払利息	387,913
(B) 有価証券売買損益	385,790,189
売買益	584,312,448
売買損	△ 198,522,259
(C) 信託報酬等	△ 52,646,305
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	406,591,576
(E) 前期繰越損益金	△ 553,426,889
(F) 追加信託差損益金	1,045,707,460
(配当等相当額)	(1,956,398,697)
(売買損益相当額)	(△ 910,691,237)
(G) 計(D＋E＋F)	898,872,147
(H) 収益分配金	△ 50,615,750
次期繰越損益金(G＋H)	848,256,397
追加信託差損益金	1,045,707,460
(配当等相当額)	(1,956,398,697)
(売買損益相当額)	(△ 910,691,237)
分配準備積立金	14,814,887
繰越損益金	△ 212,265,950

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2016年7月12日～2017年7月11日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年7月12日～ 2017年7月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	65,029,548円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,956,398,697円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	401,089円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	2,021,829,334円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,988円
g. 分配金	50,615,750円
h. 分配金(1万口当たり)	200円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	200円
-----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年3月31日＞

- ③運用の外部委託先であるノムラ・アセット・マネジメントU.K. リミテッド（NOMURA ASSET MANAGEMENT U.K. LIMITED）を運用の外部委託先から除外する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2017年4月3日＞